

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名		唐津市立馬渡小中学校						
1 前年度 評価結果の概要		・業務の更なる効率化を図り、職員の時間外在校等時間45時間以内を厳守するための手立てを取り、意識の向上を図っていく。 ・目的意識をもって学習に取り組む児童生徒を育むことができた。今後は自ら学びを調整する力を高められるような手立てや学習過程について検討を進めている。 ・自分や友達の良さ、自分の夢について語ることができる児童生徒の育成を進めることができた。人権や愛郷心等、更なる心の教育を進めていく。						
2 学校教育目標		育てよう自分らしさ、認めよう仲間の良さ、つなげよう馬渡の力 ～ 自分を愛し、周りの人を愛し、島を愛する児童生徒に ～						
3 本年度の重点目標		①学力の向上）「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進とともに、児童生徒の自己調整力を高める授業づくりを通して、主体的に学びに向かう力の育成を目指す。 ②心の教育）人権・同和教育や道徳教育、交流・体験活動の充実を柱にしたUD教育の充実 ③健康・体づくり）望ましい生活習慣・運動習慣の定着と食育の推進 ④業務改善）業務の効率化、ICT活用、きめ細かな指導の充実 ⑤小中連携）小中一貫教育と開発的生徒指導の実践（出番―役割―承認）						
4 重点取組内容・成果指標					5 最終評価			主な担当者
(1)共通評価項目								
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○児童生徒の主体的な学習を促すための単元づくり	○単元の目標を見据え、自身で目標達成のための学習方法を考え、粘り強く努力することができたと答える児童生徒の割合80%以上。					学習文化部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上 ○担任が、道徳の授業を年1回以上保護者や地域に公開する。					児童生徒育成部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員80%以上。 ○生徒会を中心として、人権活動を年1回以上行う。					児童生徒育成部	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上					児童生徒育成部	
	○自分や友達の良さを見つけ、それを発表する活動。	○自分や友達の良さを認める肯定的な回答をした児童生徒80%以上。					児童生徒育成部	
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい生活習慣の形成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ②規則正しく生活を送っている児童生90%以上 ④児童生徒の交通事故を0（ゼロ）にする					保体部	
	○「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」と考える児童生徒90%以上 ○児童生徒の朝食摂食率80%					保体部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上					管理職	
	○校務用端末やタブレットPCを活用した業務効率の改善や教育の個別最適化の推進	○意識調査において、ICTを授業や評価に活用していると回答する教員90%以上					管理職	
●特別支援教育の充実	○ユニバーサルデザインの視点にたった教室環境づくり及び授業実践の継続	○ユニバーサルデザインの視点にたった授業実践を受けた児童生徒のうち、「授業が分かりやすい」と答える児童生徒の割合80%以上					学習文化部	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目								主な担当者
重点取組			具体的取組	最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○連携(小中・地域)	○小中学校職員の協働による教育実践	○中学校教員による授業や学活の時間等を好意的に受け止める児童の割合が80%以上を維持する。					学習文化部	
	○島の様々な資源を活用した教育活動の実践	○学校行事や授業への島民の参観や参加、ゲストティーチャーとしての参加回数が年に20回以上					学習文化部 保体部	
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育								
5 総合評価・次年度への展望								